



★★★ 難しい 2 歳児 ★★★

自立心が芽生える2歳児を育てるときに心がけること

ネットで「子育て」を検索することが多くなると、スマートニュースで優先的に関連記事が表示されるようになりました。その中から一つを紹介します。

子育てには、悩みがつきものですが、特に自立心が芽生える2歳児は、難しいとされています

～自立は良いこと、でも責任を持つのは親～

2歳児に完全な「自立」はありませんが、自立の基礎を養うには、放任しては自立を促すことはできません。環境を整え、教具を与え、制限を設けるのは親や先生の役目です。そのことで子どもは安心感や落ち着き、秩序が満たされ、自立していきます。

例えば、どちらを選んでも不都合を生じない2つの選択肢(どっちを選んでもいい)を提示して、子どもに選ばせることです。そして、子どもを観察し続けること、子どもが見ているもの、聞いている音を聞くと、無意識のうちいろいろなことを取り込んでいることに気づくはずで

また、2歳児は動きたがります。できるだけたくさん運動させることです。

ここで注意したいのは、早急に結果を求めないこと、焦らずじっくり待つことです。

今は情報過多の時代です。ネット検索で必要な情報はすぐ手に入ります。幼児教育に関して専門家の先生(大学の教授)では、それぞれ考えや主張が異なります。ましてや相手は幼子です、一人一人違います。こうすれば良くなるという特効薬はありません。知識や情報は、無いより、あった方がいいのですが、それを参考にするかしないかは、あなた次第です。

私は、こうした記事を目にすると、単にコピペするのではなく、要約して自分の言葉に置き換えて、通信に載せるようにしています。



『園長先生の話』と『園長先生あのね～』



月に一度の「お集まり会」が苦痛です。0歳から5歳児を相手に何を話していいか、毎回悩みます。ところが子どもたちは、聞いていないようで、ちゃんと聞いていることに気づきました。

今頃になって「園長先生、あのね、どうしてクリスマス会するとき、いなかったの?」と言われました。「大事な会議があったんだよ。」と答えると「クリスマス会も大事だよ」と注意されました。

「園長先生、あのね、もうオニは来ないよね。」豆まきの時に「いい子にしていないと鬼が来るぞ!」と脅したことを覚えていたのです。今にも泣きそうな顔をしていたので、「今年は、もう来ないよ!」と言いました。

「園長先生、あのね、地震でね、お風呂に入れるようになった。」何のことだと思ったら、能登半島地震の話をしたとき、「ニュースをちゃんと見なさい」と言っていたのを覚えていて、自衛隊がお風呂を提供したというニュースをテレビで見たらしいのです。

4歳児さん、5歳児さんのフッ化物洗口の様子を見に行きました。「どうして、くちゅくちゅするの?」と聞くと「虫歯にならないように」と言うので「歯が丈夫だと長生きするんだって」と教えてあげると「園長先生は、長生きするの?」と言われたので「もう少し、生きていたいなあ～」と答えました。

《お知らせ》 2回目の「書画展」を3月10日(日)から24日(日)まで

公民館ロビーでやっています。老後の楽しみです。お時間がありましたら足を運んでいただけたらうれしいです。今回は、訓子府の風景を何枚か加えました。

